

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業・国際交流拠点形成事業)

事業名：鑑賞支援ツール（アートカード、アートポスター、ワークシート）の作成・配布

事業者名：群馬県立館林美術館

住所：群馬県館林市日向町2003

TEL：0276-72-8188

FAX：0276-72-8338

HPアドレス：<http://www.gmat.gsn.ed.jp/>

連携事業者名：東毛地区小中学校

会場：群馬県立館林美術館

事業期間：平成21年7月1日 ～ 平成22年3月15日



## 1. 館の使命と本事業の関係

当館は、群馬県で2館目の県立美術館であるため、より地域に根ざした美術館としての事業展開が期待されている。地域の学校との連携は、地域に根ざした美術館として美術館を活性化させるために欠かせない事業である。

そこで、所蔵作品より60点を選んで作成した葉書大のアートカードを使ったカード遊び、さらに25点を厳選したアートポスターとワークシートを用いた鑑賞授業を通して、学校の先生と学芸員との連携が生まれ、地域の子どもたちが所蔵作品に親しみ、美術館を身近に感じることによって、将来にわたり美術館を利用し、自ら作品鑑賞を楽しんでもらうことを期待して、本ツールの作成を行った。

## 2. 企画内容

### ①事業目的

地域の小中学校の図工主任と連携し、鑑賞支援ツールとして「アートカード」「アートポスター」「ワークシート」を作成し、美術館が位置する群馬県東毛地域の小中学校に配布する。また、それらの継続的活用を推進させるために、併せて美術館スタッフによる訪問一日鑑賞授業を実施することによって、当館の主要作品をとおして美術作品に親しんでもらい、美術館を身近に感じてもらうことを目的とする。訪問一日授業は毎年継続して募集を行うこととし、将来的に当館への学校利用の促進と入館者増へと発展させることを目的とする。

### ②事業概要

- ・鑑賞支援ツール仕様検討委員会の開催（計3回）
- ・「アートカード」「アートポスター」「ワークシート」の仕様の決定
- ・アートポスター制作のための写真撮影
- ・アートカード作成のための著作権処理
- ・印刷物の作成
- ・各学校、教育委員会等への配布
- ・「学芸員訪問一日鑑賞授業」募集要項作成・配布

### 3. 事業実績

#### (1) 事業の主な内容及び日程、参加人数

- 8月17日 第1回鑑賞支援ツール仕様検討委員会開催。  
東毛地区美術図工主任、教育委員会、美術館関係者計18名参加。
- 8月24日 第2回鑑賞支援ツール仕様検討委員会開催。  
東毛地区美術図工主任、教育委員会、美術館関係者計17名参加。
- 10月20日 第3回鑑賞支援ツール仕様検討委員会開催。  
東毛地区美術図工主任、教育委員会、美術館関係者計17名参加。
- 11月 鑑賞支援ツール（アートカード、アートポスター、ワークシート）仕様決定  
印刷物入札
- 12月 アートポスター用作品写真撮影  
アートカード著作権処理
- 2010年
- 1月～2月 印刷物デザイン案、校正  
学芸員訪問一日鑑賞授業申込書作成・配布
- 3月 鑑賞支援ツール納品、配布



鑑賞支援ツール仕様検討委員会



鑑賞支援ツール仕様検討委員会

## (2) 事業により作成した印刷物等

アートカード：60 種類 415 セット

アートポスター：25 種類 300 セット

ワークシートおよびデータCD：300 セット

ガイドブック：300 セット



鑑賞支援ツール「アートカードセット」



ガイドブック

ワークシート

#### 4. 事業の成果及び今後の課題

鑑賞支援ツール仕様検討委員会において、地域の小中学校の美術図工主任と連携を深めたことによる効果は大きい。鑑賞支援ツールが学校の先生方にとって使いやすい仕様になったばかりでなく、美術館スタッフが学校の美術図工教育の現状を知り、学校の先生が美術館に関心をもってくれるようになったことも大きな収穫であった。出来上がった鑑賞支援ツールを積極的に普及させたいという先生方の意見もいただいている。

学芸員訪問一日鑑賞授業の募集が始まったが、仕様検討委員からの応募や、研究授業での連携を希望された。今後学芸員訪問一日鑑賞授業を継続的に実施し、美術館と地域の学校との連携を深めていくことと、美術館の学校利用へと発展させてゆくことが課題である。